

W1500×H600mm

明日、地球が「死ぬ」としたら

大切な存在との別れについて、考えたことある？

この作品について

最近、「死」というワードを見かけることが増えているなあと感じています。死にたいと願っている若者の数が多いことも現実です。戦争などで望まぬ死を迎えてしまう人もいます。

でも、やっぱり死ぬのは怖い。
いつその時が来るか、わからない。

この小説は、ある世界で死にゆく人々のお話です。この小説を通して、今一度「死」について考える人が1人でも多くいると願って。